

サビエル生誕五百年



藤屋侃士
(下松市幸ヶ丘)

535

かもめのジョナサン (後)

→ 結婚を考える⑥

一九七〇年に出版され、世界的ベストセラーアーになつて映画化まで

方のないことかもしけない。

そんな消極的な理由

ながらも肯定する気持ちになつたのは、実はこの本を運動

根本的には「M・E」

のバンナにあるように

ます個人主義が強

る。

だから結婚という紛

り前面に出ると、結婚

といふ違ひを認め

か。

や家族崩壊が目立つ。

そんな今、一番求めら

れておられることが確信

し、互いの違いを認め

か。

家族という共同体の

が家族という共同体を

だけではなく、老若男女

が家族という共同体を

もつて社会にスパイ

ルのことく生きること

が「結婚での一致」から

気づかせられた。

生きることがファイアーズが必要なのではないだ

サン」。これは一つの独立した作品である。に立した作品である。に「ル」という言葉が使われた。ミズスマシは同じ

決心したのだろう。

「M・E」も、最初は夫婦間のより深い一致のジヨナサン・完成版

に進化したもので、根本思想「神はくずをつくらない」のバンナ

つくらない」のバンナ

ある。

その変遷は「かもめ

のジヨナサン・完成版

登場とよく似ている。

どちらも宗教的な一面

が強い。「かもめのジヨナサン」の映画を観て強くそれを感じた。

水面上を旋回するが、スパイは渦巻状の空間曲線を描きながら、上へ上へと登る。

結婚生活も、同じ所をくるくる回るではなく、わずかでもいいかが現代社会に最も大切な曲線を描きながら、が現代社会に最も大切

な運動ではないかとし、より深い夫婦の一致を目指すべきだとしてステ「ファイアーズ(炎)」

のバンナにあるように、「神様は(誰一人として)不必要なものはない)、つまり利己主義が横行

する。結果として離婚

してくずはつくらな

い)。

だから結婚という紛

り前面に出ると、結婚

といふ違ひを認め

か。

や家族崩壊が目立つ。

そんな今、一番求めら

れておられることが確信

し、互いの違いを認め

か。

家族という共同体の

が家族という共同体を

だけではなく、老若男女

が家族という共同体を

もつて社会にスパイ

ルのことく生きること

が「結婚での一致」から

気づかせられた。

生きることがファイアーズが必要なのではないだ



「ファイアーズ(炎)」のバンナ

「M・E」

五つの言葉の意味を大

切にしながら「家族の

「一致」に進化したもので、根本思想「神はくずを

つくらない」のバンナ